

北名古屋市放課後子ども教室

—児童クラブとの校内交流型—

■校内交流型の概要

北名古屋市では、市内の全10小学校（うち1校のみ連携型）の特別教室等を活用して実施しています。対象児童は3～6年生で児童クラブと併用でき、放課後子ども教室と児童クラブの連携に取り組んでいます。

■特徴的なこと・工夫していること

毎日必ず、タブレットやプリント等の宿題に取り組めます。また、講師の先生を招いた体験学習、スタッフが企画したレクリエーション、夏休みにはALTによる英語活動を実施し、児童に様々な体験活動の機会を提供しています。

■校内交流型で実施するプログラム内容

児童クラブと合同でレクリエーション活動（夏祭りなど）

■課題

タブレットを有効活用するために、スタッフは児童のタブレット学習の進め方に注意して、指導していく必要があります。また、運動の機会を増やして体力を伸ばしたり、様々な体験活動を企画したり、児童が楽しく過ごせるよう努めていくことが課題です。

■成果

タブレットやプリントによる宿題を、毎日必ず取り組んでいるため、学習習慣が定着しています。

体験活動に運動教室やダンス教室を取り入れ、児童が放課後子ども教室で、体を動かす機会が増えてきました。

■活動の様子



■開催状況

週5回

■参加人数

約20人/日

■主な活動場所

小学校特別教室など

■指導員数

約2～3人/日